



「いままで ありがとう」 ～バトンを受け継ぐ時～

校長 下 畑 茂

◇6年生に届けたい「ありがとう」の気持ち

暦は立春を過ぎても、厳しい寒さが続きました。

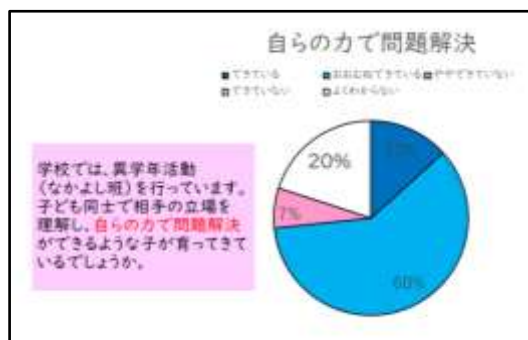
飯地の山も雪化粧の中、子ども達は連日、大忙しでした。グラウンドの雪を集め、大きななまくらにすべり台を作り、楽しむ姿がありました。PTA 総会の折にもお伝えしましたがいいじっ子のたくましさは、こうした日々の遊びを通して育まれています。

雪解けと共に、それぞれの進級に向けて校内では引き継ぎが行われていきます。「6年生を送る会」では、5年生がリーダーになり、準備を行いました。朝活動の時間には、学習室からハンドベルの音が。1年生から5年生で「オーラリー」を奏でました。穏やかで心にしみるベルの音色。曲の語源は北極圏の空に輝く「オーロラ」に由来し「黄金の光 (Golden Light、Glowing Light)」の意味があるそうです。6年間の小学校生活を終えて巣立ち行く卒業生の行路を彩る明かり。在校生一人一人が「これまでありがとう」「中学校でも頑張るね」「わたしたちも頑張るよ」の思いを込めて演奏しました。6年生は万感の思いで卒業を迎えています。

◇「自らの力で問題解決できる子」に

学校評価へのご協力、貴重なご意見ありがとうございました。保護者の皆様方の願いを学校経営に位置付け、新年度、共に歩んで参りたいと思います。「自らの力で問題解決する力」に関わって、今年度6年生からの提案で「飯地小宣言」を見直しました。バトンが受け継がれていく今、「誰もが安心・安全・楽しく生活できる学校をみんなで創る」という6年生の願いのもと、進級に向けてのめあてを決め、一人一人がやりきり活動として取り組んでいます。

朝活動や様々な行事と一緒に楽しんだ思い出と共に、6年生が残してくれた意志は、卒業してからも飯地小の子ども達の中に、受け継がれていきます。



飯地小学校運営協議会 PTA 家庭教育委員会講演会 いのちの授業 2月15日(土)

～地域ぐるみで育てたい姿 『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

今年度最後の授業参観・PTA 総会が行われました。同日、PTA 家庭教育講演会にて助産師の村上泰子先生より「つたえたい あなたの体と心の変化」を親子一緒に聴講しました。内容は「思春期の体の変化」「思春期の心の変化」「大切な体と心を守ること」「心のあり方による4つの性」。今、そしてこれから子ども達が直面するだろう悩みや不安について、親子で一緒に考えるきっかけを与えていただきました。そのために「相談する力」を低学年の頃から親子で育てていくこと。成長のタイミングは、一人一人違うことを認め合い、自分のいのちも、友達のいのちも同じように大切にできる人になっていくこと。「いのちをつなぐ」一人として大切なことを参加者みんなで学ぶ機会となりました。村上先生、そしてPTA 役員の皆様、ありがとうございました。

